



ごうちゃんねる (GO-CHANNEL)

2022/10/29

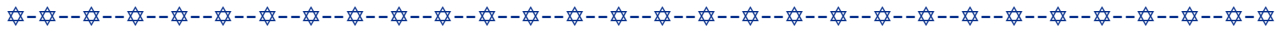
あっさり黙示録 #38

第 5 の鉢の裁き

—暗黒で打たれる暗黒の国バビロン—

黙示録 16 章

東住吉キリスト集会 高原 剛一郎 氏



お元気ですか。高原剛一郎です。あっさり黙示録の時間がやってまいりました。チャンネルを合わせていただいて、ありがとうございます。今見ているのは艱難時代のクライマックスの部分です。7年間の艱難時代のラスト1週間に、立て続けに下って来る**7つの鉢の裁き**について見ています。

今日は**5番目の裁き**です。これは**闇による苦しみの裁き**。実際どのように書いてあるのでしょうか。

黙示録 16 章

10 第五の御使いが鉢の中身を獣の座に注いだ。すると、獣の王国は闇におおわれ、人々は苦しみのあまり舌をかんだ。

11 そして、その苦しみと腫れもののゆえに天の神を冒瀆し、自分の行いを悔い改めようとしなかった。

今日も3つのポイントで解説します。

1) 獣の座とは何か

第五の御使いが鉢の中身を獣の座に注いだ。すると、獣の王国は真っ暗になった。獣は反キリストの別名です。黙示録の中に反キリストという名称は出て来ないんですね。獣の座は獣が座している王座。反キリストが君臨している国バビロンなんですね。



バビロンは聖書に出て来るバビロン。かつて、バベルの塔が建っていたあのバビロン。



現イラク、北緯 32.5 度・東経 44.4 度、ユーフラテス川のほとりにあって、国連の世界遺産に登録されています。

ただし、見渡す限り目ぼしい物は何もありません。遺跡はあります。しかし、その周りに何も無い。砂漠なんですよ。

イラクの荒れた地のど真ん中に、かつて町だったバビロンがあるんです。

しかし**黙示録**では、このバビロンが艱難時代に世界の中心になる。世界帝国の首都になる。すべての政治・経済・宗教のセンターとして機能するようになる。

「そんなの信じられない！あり得ないよ。いくら聖書に書いてあっても、そんなのはないだろう。」そういう方には、一度ドバイに行かれることをお勧めしたいです。

ドバイはアラブ首長国連邦の主要都市の1つですよ。

かつてここは何もない、まさに砂漠と海しかありませんでした。それが今どうなっているか。



世界で一番高い塔、ブルジュ・ハリファ（828.0m/206 階建て）が建ってます。2025 年にはドバイ・シティ・タワーが出来ますが、その高さ標高 2400m。北海道の大雪山より高いんですよ。そんなビルが現在建設中なんです。



また、世界で一番大きなショッピングモールがあって、砂漠のど真ん中であるにも拘わらず、世界の様々な店やレストランが集まっている。だけではなく、スケートリンクやスキー場まであるんです。炎天下の中東砂漠のど真ん中でスキーができるというね。

そして何よりも、世界中のスタートアップ企業が集まってるんです。ビジネスチャンスを探して、世界中の金持ちが殺到してるんですね。様々なハイテク産業の研究機関なども乗り出している。というのは、スタートアップ企業の資金調達率が世界一高い町なんです。世界一ネット環境が良く、世界のお金持ちが最も集まっている所。ヨーロッパとっているかもしれませんが、いつの間にかドバイになっていた。ドバイのマンションは文字通り億ションですよ。

2005年



ついこの間まで、砂漠以外何もない所でした。

しかし、やり手の経営者が莫大な資金をうまく活用すると、別世界が生まれるのです。

現在



このバビロンを設計し、造り上げて行くのは反キリストです。

ただ者ではないのです。アツと気がついたら世界全体の心臓部になっている。それがバビロンなんですね。バビロンを中心に、彼は全世界の人々を支配し、自らを崇拜させるように仕向けて行くんです。

このバビロンに対する 5 番目の裁きが**暗闇による裁き**です。

2) 闇に覆われる苦しみ

暗闇による裁きは反キリスト帝国を強制終了させるための災いの 1 つですが、非常に選択的です。獣の国全体が闇に覆われますが、そこに住んでいる全員が闇の苦難を受けるわけではありません。

国全体が闇に覆われてしまう、という神の裁きは旧約聖書で一度出現しています。

エジプトでそんな事件があったんです。3500 年前、エジプトの王ファラオの下で、たくさんのユダヤ人たちが奴隷としてこき使われていました。神は苦しみの中にあるユダヤ人たちの祈りを聞き、指導者モーセを立てて「ユダヤ人たちを解放しなさい」と言います。

しかしファラオは、「なんで俺がユダヤの神の言うこと 聞かなあかんねん」と行かせない。

頑固なファラオに対し、創造主なるイスラエルの神は 10 個の裁きを下して、ユダヤの民を行かせるように変えてしまったんです。10 個の裁きの 9 番目が、闇によってエジプトを打つ裁きでした。

出エジプト記 10 章

21 主はモーセに言われた。「あなたの手を天に向けて伸ばし、闇がエジプトの地の上に降りて来て、闇にさわれるほどにせよ。」

22 モーセが天に向けて手を伸ばすと、エジプト全土は三日間、真っ暗闇となった。

23 人々は三日間、互いに見ることも、自分のいる場所から立つこともできなかった。

なぜ神は、闇がエジプト全土を覆うという裁きでエジプトを打たれたのでしょうか。当時のエジプトは多神教、たくさんの神々がいましたが、その大半は太陽神ラーとその親戚・子孫たちで、太陽神から派生した太陽神ミニチュアみたいな神々がいっぱいおったんです。

暗闇で覆われたエジプト人たちは、今まで信じて来た偶像の太陽神を拝み、叫び、呼び求めたんじゃないですか。「神よ！どうぞこの暗闇を吹き払ってください。あなたは太陽だからです。」
「太陽神であるあなたは、闇を追っ払うことができるでしょう！」全然あかんねん。

「太陽神は神ではない。太陽ではなく、太陽を造られた真の創造主を礼拝すべきではないか。人が作り上げた太陽神などという擬人化されたものは存在しない。自然界を拝むのではなく、自然界を創造された作者こそを礼拝すべきなのだ。」
このことを示すために、闇で覆っているんですね。

私たち日本人は自然を大切にする国民だと思います。それは本当に素晴らしく、誇るべきことだと思いますが、自然界を大切にするのと、自然界を神として拝むことは別です。素晴らしい自然界を与えてくださった贈り主こそ、私たちが感謝を献げる相手だと思うんですね。それが、聖書が語っている創造主なる神なのです。

3) 選択的裁き

出エジプト記 10 章

23 人々は三日間、互に見ることも、自分のいる場所から立つこともできなかった。しかし、イスラエルの子らのすべてには、住んでいる所に光があった。

エジプト全土が闇に包まれたが、エジプトに住んでいる人全員が闇に包まれたのではない。エジプトにいるイスラエルの子らのすべて、太陽神ではなくイスラエルの神を信託しているユダヤ人（イスラエル人）の上には相変わらず光があった。
創造主は裁くべき人とそうでない人を十把一絡げに、一緒くたに扱うことはないのです。

これは黙示録でも言えます。

黙示録 16 章

11 そして、その苦しみと腫れもののゆえに天の神を冒瀆し、自分の行いを悔い改めようとしなかった。

悔い改めようとしなかった人たちを上手くいかない状況に追い込むことで、「今までの生き方はダメなんだ」と気づかせるためなんです。既に悔い改めている人たちは、このような裁きを受ける必要がないんです。

黙示録 16 章に出て来る **7 つの鉢の裁き** は、全人類に降りかかる裁きではありません。反キリストに従い続ける人たちにのみ下るのです。神は裁きたい方ではなく救いたい方です。裁きたくない方。救いに入れたい方。なので、裁かれる必要のない人にまで、神の裁きが及ぶことはないのです。

時々こんな質問を受けます。「今妊娠中ですが、携拳の時、赤ちゃんや幼い子供たちはどうなるんですか。母親の私は天に上げられますが、赤ちゃんはどうなるのでしょうか。」
母親がいなくなったら子供たちの世話はだれがするのか、ということですね。

聖書には明確に書いてありません。だから断言はできませんが、聖書から類推できると思います。神は裁きたい方ではない。裁かれる必要のない人たちを、裁かれなければならない人たちと一緒にくたにすることはない方です。ということ根拠に類推すると、幼い子供たちも携拳と一緒に引き上げられる、と私自身は考えています。

聖書はあくまでも救いについて語っている書物なんですね。
しかし、この動画を見ている皆さんは赤ちゃんではない。既に大人で、人生に責任を持てる年齢に達していると思います。自由意思を持ち、独立した人格を発揮できる方だと思います。

獣と呼ばれる反キリストと出くわすことのないように、こんな恐ろしい時代に入る前に、ぜひあなたを心配しておられる創造主なる神に立ち返ってください。
キリストがあなたの道であり、真理であり、いのちとなってくださいます。
ぜひキリストを信じてください。心からお勧めします。

チャンネル登録もお願いします。ではまた お目にかかりましょう。
皆さん、お元気でいてください。さよなら！

わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。(イエス・キリスト)

☆引用：新日本聖書刊行会「聖書 新改訳 2017」いのちのことば社,2017
「バベルの塔」 Pieter Bruegel 美術史美術館（ウィーン）蔵